

地域の人に学べ

ようこそ！先輩

2月21日に中山小学校の6年生が、総合的な学習の時間で、公務員、映像制作プロデューサー、観光コーディネーター、アーティスト、油田掘削人、酒造会社勤務などさまざまな職業の方をゲストティーチャーとして招き、「先輩に学ぶ」のテーマで学習を行いました。

子どもたちはゲストティーチャーから、その職業ならではのエピソード、苦労したことや仕事の中で得た喜びなどの話を熱心に聞き、聞き逃すまいとメモをとったり、質問



◀「会社でどんな仕事をしているのですか」

したりしていました。

授業を終え、子どもたちからは「自分の仕事について楽しそうに話されていたので、将来、社会に出て働くのが楽しみになった」「その職業の印象が変わった」「今、なりたい職業や夢が決まっていなくても大丈夫といってもらえてうれしかった」などの声がありました。

地域で活躍する方々から話を聞き、働くことの意味や自分の将来について考えを深める一日になりました。

元気いっぱい

赤ちゃんハイハイ競争

▶タスキを手渡す交通安全協会名和支部



安全確認しっかりと

新中学生に反射タスキ寄贈

中学生の通学時の交通安全と事故防止に役立ててほしいと、中山・名和・大山の各交通安全協会支部が、それぞれの校区の中学校へ夜光反射タスキを寄贈しました。

名和中学校では2月2日に贈呈式が行われました。

名和中交通安全委員長の近池^{そら}颯来さんと副委員長の前田^{かりん}果凜さんが、「これからも、交通ルールを守り、安全に通学をするよう皆に働きかけます」とタスキを受け取りました。

▶聞いてみたいことがいっぱい



子育て支援センターの恒例行事、赤ちゃんハイハイ競争が3月6日に福祉センターだいでせんで行われました。0〜6歳児の乳幼児約60人がエントリーし、「ハイハイ」「ヨチヨチ」「走りっこ」の3部門にわかれて出場しました。

出してしまうったり、途中でピタッと止まってしまい、お母さんの必死の誘導もどこ吹く風のマイペースの赤ちゃんがいたり、会場は大変盛り上がりしました。



▶がんばれ〜！熱気にあふれる会場